

IV 事業概要

1 学芸事業

【1 展示関係】

(1) 常設展

③ 生活系展示

生活系展示は、生活に関わりの深い科学を次の3つの視点から構成している。

環境アトリエ

環境を多角的にとらえることができる展示である。

100インチマルチビジョンを利用した万華鏡型環境表示システムで、4つのテーマを象徴する映像をみせる「地球環境マルチビジョン」、宮城県内各地で観測している微小粒子状物質(PM2.5)や二酸化窒素濃度分布をリアルタイムで見ることができる「環境をはかる」、化石燃料から循環型のエネルギーシフトをテーマとして燃料電池システムなどを用いた「エネルギーシフト」のほか、源流から河口までの流れを模式的に観察できる「広瀬川と環境」などの展示からなる。

小学校教材(モジュール学習)にも利用できる「川の石」「みやぎの魚」「河原の小石」もあり、郷土の自然についての展示がある。

生活の科学



二宮康明氏紙飛行機コレクション

私たちの生活が科学と深く結びついていることを確かめていく展示である。

「脳の健康度」を判定できる「デュアルタスク体験足踏み計算ゲーム」は、正方形のマットの上で足踏みをしながら、目の前のモニターに次々と表示されるクイズに答えていく体験型の展示である。

仙台出身の二宮康明氏の紙飛行機コレクションのコーナーでは多くの紙飛行機を展示している。



足踏み計算ゲーム



Dagik Earth

自動車の駆動部をカットしてみせる駆動系カットモデルを中心に自動車各部の部品を分類展示する「GARAGE」、形状記憶合金や生活用品に使われている素材を紹介する「素材のコーナー」、衛星雲画像や地震情報を提供する「台原気象センター」、地球をデジタル立体表示で展示する「Dagik Earth」を展示している。「GARAGE」コーナーの一角にはドライビングシミュレータがあり、子どもから大人まで人気がある。また、東北大学メディカル・メガバンク機構との連携展示「ATGC ナノの旅」では、ゲノムに関する知識をタッチパネル式のゲームを交えてわかりやすく解説している。

趣味と遊びの科学



ダンボールひろば

好奇心を呼び起こす科学の遊びを通して、楽しみながら科学とのふれあいができる場である「エイムズの部屋」や初心者でも簡単な操作でコンピュータゲームを楽しめる「パソコン工房」、また、エントランスホール天井部分に人力飛行機の展示がされており、それに伴い模型や実機を通して飛ぶ仕組みを紹介した「フライトコーナー」に人力飛行機の内部構造等を示した「人力飛行機関連展示」がある。人が入

ったりできる「シャボン玉コーナー」、来館者が自分の興味に応じて実験をしたり、科学の不思議さを体験したりできる「チャレンジ・ラボ」などがある。30年度は、ダンボールブロックで遊びながらダンボールの強さやリサイクルについて学べる「ダンボールひろば」が新設された。また、プログラミングロボットの体験コーナー「ロボットひろば」では、体験内容や展示内容が拡充された。